

# 令和4年度 第1回 学校関係者評価委員会

1. 日 時：令和4年9月7日(水) 14:30～16:00
2. 場 所：白河厚生総合病院附属高等看護学院 講堂
3. 会議の概要：
  - 1) 自己評価委員からの報告
    - (1) 令和4年度 方針・行動計画について
      - ① 令和4年度 運営方針書
      - ② 令和4年度 教育体制
      - ③ 令和4年度 会議計画
      - ④ 令和4年度 学校安全教育計画
    - (2) 教科外活動
    - (3) 学生の状況
      - ① 入学生の状況
      - ② 令和3年度 卒業生の進路状況
      - ③ 第111回看護師国家試験の結果
    - (4) 新カリキュラム導入後の進捗状況
      - ① 新カリキュラム見直しのポイントと本校の取り組み
      - ② 主な新設科目の進捗状況  
地域・在宅領域 / 情報通信技術(ICT) / 基礎看護学実習(看護を知る実習)
    - (5) その他
  - 2) 授業参観(ICT・タブレット活用)：看護共通基本技術Ⅱ(バイタルサイン測定の演習)
  - 3) 学校関係者評価委員からの対話による評価
4. 学校関係者評価委員からの対話による評価(ご意見・ご質問)および現状と課題

学校関係者評価委員の評価	現状と今後の取り組み
1) ICT教育について 動画を見ながらの技術練習であったが、今後さらにICTを活用できるよう幅を広げて、発展させて教育してほしい。	現在1年生のみがタブレット端末を所有し、講義や演習を中心に、学校生活で活用している。今後はさらに拡大し、タブレット端末活用の整備をするとともに、将来的には電子テキストの導入を目指し検討、準備を行っていく。
2) 新カリキュラムについて 新カリキュラムは地域で生活している方を対象として捉えている。それにより実習施設がJA福島厚生連の各施設に拡大し、また実習内容も幅広くなり教員は大変であると思うが、今後も学生育成に向けて頑張してほしい。	新カリキュラムにおいては、看護の対象や看護実践の場の拡大に伴い、実習施設も地元企業やJA福島厚生連の各施設で展開するよう構築した。これからも地域で活躍する看護師育成、地域を愛し地域に愛される学生を育成していく。